

5.6 扇町6号公園

5.6.1 計画内容の検討及び設定

(1) 想定される利用者・利用シーン

主なターゲット	想定される利用シーン	必要な機能・性能(案)
近隣住民	<ul style="list-style-type: none">• 子どもの遊び場利用• 地域のイベント時や、災害時による利用• 散歩時の立寄り利用	<ul style="list-style-type: none">✓ 日常的に利用しやすい遊具等の遊び場空間等✓ イベント時や災害時に利用できる広場空間等✓ 休憩利用時にくつろぐことのできる施設・設備等
幼児・小学校低学年	<ul style="list-style-type: none">• 周辺小児病院利用時の立寄り利用	<ul style="list-style-type: none">✓ 幼児・小学校低学年が利用可能な遊び場空間等

(2) コンセプトの設定

小学校低学年以下の子どもが
安心・安全・そして楽しく遊べる公園

(3) 基本方針

- ① 周辺に近隣公園である扇町1号があることから、小学校低学年以下にメインターゲットを設定した公園整備を行う。
- ② 街区公園として、近隣住民の日常的な地域活動拠点の場を創出する。
- ③ ユニバーサルデザインに配慮した整備とする。

5.6.2 ゾーニング計画・動線計画

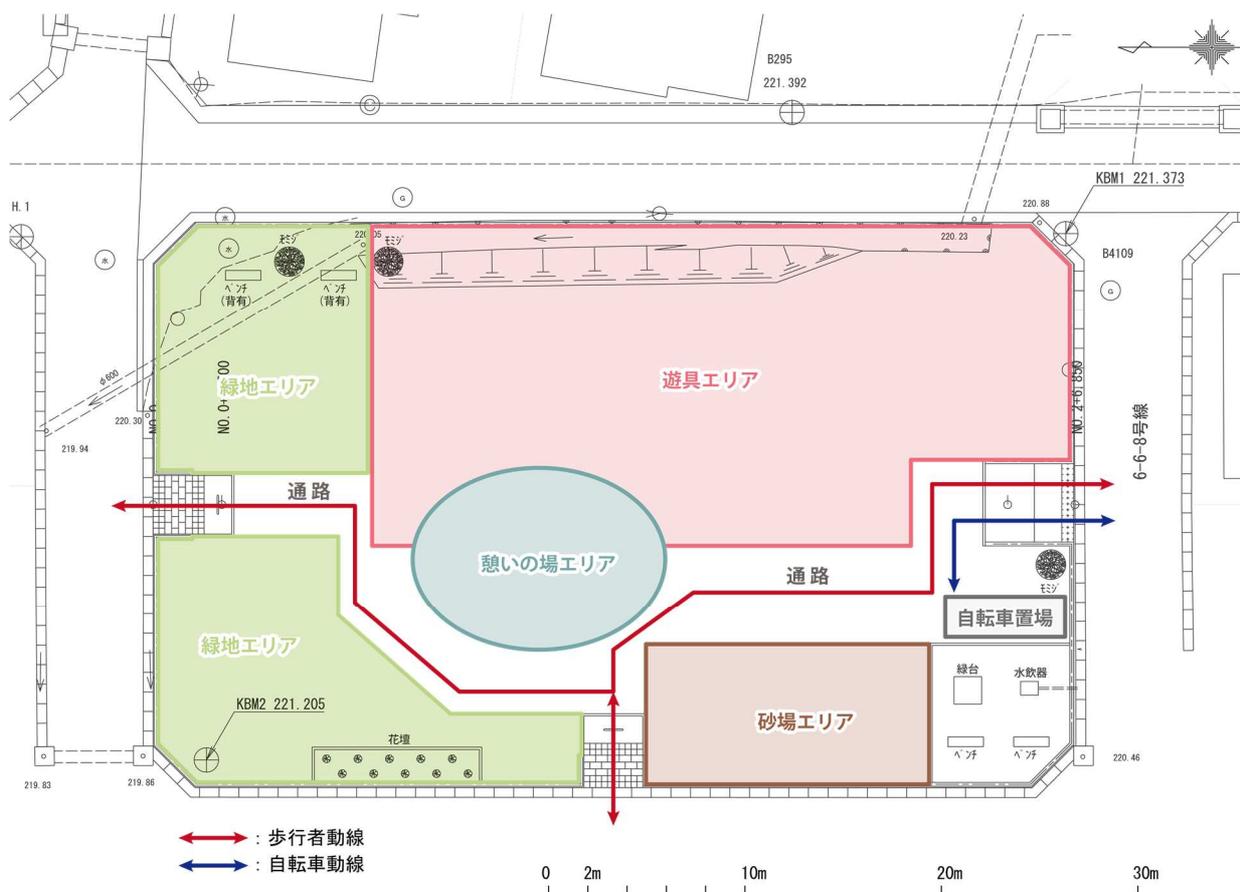


図 5-46 扇町6号公園 ゾーニング計画及び動線計画図

(1) 遊具エリア

幼児・小学校低学年をメインターゲットとした遊具を充実させることにより、扇町土地区画整理地区内の他の公園との差別化を図る。また、子どもたちが素足で歩いたり、寝転んだりすることも可能なエリアとして整備する。

(2) 砂場エリア

砂場エリアについては、扇町土地区画整理地区内の他の公園には設置しない想定であることから、本公園の特徴的な施設として整備する。なお、安全・安心に利用できる施設とするため、衛生面に留意する。

(3) 憩いの場エリア

子どもが遊んでいる間の保護者の見守りスペースや、近隣住民の交流スペースとして、長時間の滞在も可能な屋根のある空間を想定する。

(4) 緑地エリア

隣接する住宅との緩衝帯となりながら、木陰の創出や、季節や自然を感じられたりすることができる樹木等を配置する。

(5) 園路

近隣住民に開かれた公園とするため、バリアフリーな園路空間とする。

5.6.3 施設計画

(1) 遊具エリア

■ 整備方針

幼児・小学校低学年をメインターゲットとした遊具を充実させることにより、扇町土地区画整理地区内の他の公園との差別化を図る。

■ 導入施設(案)

- ・芝生広場／・ベンチ
- ・子ども用遊具(滑り台、ブランコ、ステップ遊具 想定)

■ 主な施設整備イメージ

① 芝生広場

- 遊具広場の周辺に芝生広場を整備し、芝生に触れることによるリラックス効果や、転倒した場合の怪我の程度軽減を図る。

〈整備イメージ〉



図 5-47 芝生広場 整備イメージ

② 子ども用遊具

- 子どもたちに人気の複合遊具とともに、ブランコ等の設置を想定し、様々な遊びが体験できるようにする。

〈整備イメージ〉



図 5-48 ステップ遊具 設置イメージ

(出典:内田工業株式会社カタログ)

(2) 砂場エリア

■ 整備方針

砂場エリアについては、扇町土地区画整理地区内の他の公園には設置しない想定であることから、本公園の特徴的な施設として想定する。なお、安全・安心に利用できる施設とするため、衛生面に留意する。

■ 導入施設(案)

・砂場／・ベンチ／・縁台

■ 主な施設整備イメージ

① 砂場

- インクルーシブな砂場として、車いす利用者でも遊ぶことが可能なテーブル状の砂場を設置。

〈整備イメージ〉



図 5-49 砂場(テーブル状) 設置イメージ

(出典:内田工業株式会社カタログ)

(3) 憩いの場エリア

■ 整備方針

子どもが遊んでいる間の保護者の見守りスペースや、近隣住民の交流スペースとして、長時間の滞在も可能な屋根のある空間を想定する。

■ 導入施設(案)

・砂場／・ベンチ／・縁台

■ 主な施設整備イメージ

① シェルター空間

- 子どもが遊んでいる間に保護者がゆっくりと見守れる場所として、日陰をつくるためのシェルターを設置する。
- なお、現在本公園に設置されている花壇をシェルター付近に移設することで、花壇の維持管理の際にも利用されることを想定する。

〈整備イメージ〉



図 5-50 シェルター 設置イメージ

(4) 緑地エリア

■ 整備方針

隣接する住宅との緩衝帯となりながら、木陰の創出や、季節や自然を感じられたりすることのできる樹木等を配置する。

■ 導入施設(案)

・地被植栽／・低木

■ 主な施設整備イメージ

① 地被植栽・低木

- 隣接する住宅との緩衝帯機能を持たせるとともに、季節を感じられる植栽計画とする。

(5) 園路エリア

■ 整備方針

近隣住民に開かれた公園とするため、バリアフリーな園路空間とする。

■ 導入施設(案)

・園路(As 舗装想定)

■ 主な施設整備イメージ

① 園路(As 舗装想定)

- 日常時・非常時ともに誰もが気軽に利用できるようにするため、園路はバリアフリー舗装かつ車いすの相互通行可能な幅員 1.8m 以上として整備を行う。

5.7 扇町7号公園

5.7.1 計画内容の検討及び設定

(1) 主なターゲット、利用者層の設定

主なターゲット	想定される利用シーン	必要な機能・性能(案)
近隣住民	<ul style="list-style-type: none">• 子どもの遊び場利用• 地域のイベント時や、災害時による利用• 散歩時の立寄り利用	<ul style="list-style-type: none">✓ 日常的に利用しやすい遊具等の遊び場空間等✓ イベント時や災害時に利用できる広場空間等✓ 休憩利用時にくつろぐことのできる施設・設備等
周辺介護施設利用者	<ul style="list-style-type: none">• 散歩等による利用	※園芸を行うことは、介護予防や認知症予防に効果があると言われている。

(2) コンセプトの設定

近隣の住宅街の憩いの中心となる公園

(3) 基本方針

- ① 地域住民が自由に使えるオープンスペースとともに、自然を充実させることにより、地域住民がくつろげる空間を創出する。
- ② 隣接する介護施設など、地域と一体となった維持管理活動の場を創出する。
- ③ 街区公園として、近隣住民の日常的な地域活動拠点の場を創出する。
- ④ ユニバーサルデザインに配慮した整備とする。

5.7.2 ゾーニング計画・動線計画

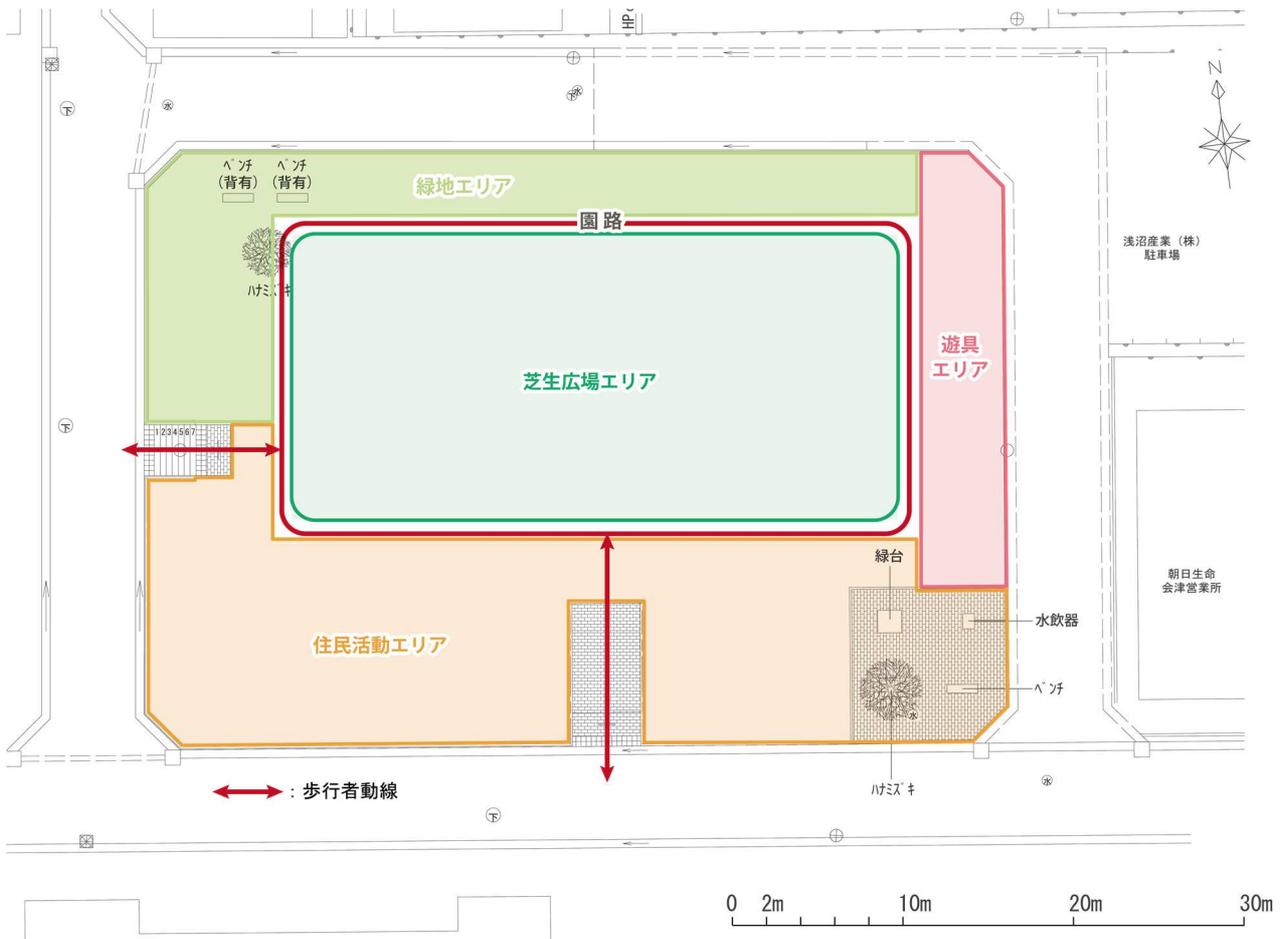


図 5-51 扇町7号公園 ゾーニング計画及び動線計画図

(1) 芝生広場エリア

近隣住民等がくつろぎ、自由に使うことのできるオープンスペースとなることを想定する。外周部にスツール類を配置し、公園内の散歩利用時に適宜休憩可能な空間とする。

(2) 遊具エリア

近隣に住む子どもの遊び場として利用されることを想定する。周辺に一箕小学校や扇町8号公園があることから、施設・設備については機能分担に留意する。

(3) 住民活動エリア

公園南側の出入口がフラットになっているため、公園南側をメインエントランスとして想定する。花壇の配置により、近隣住民等の維持管理活動への参加を通じた地域交流の創出を図る。

また、非常時には一時避難場所としても機能するようにするため、車いす等でも利用しやすいよう舗装材とする。

(4) 緑地エリア

隣接する住宅との緩衝帯となりながら、木陰の創出や、季節や自然を感じられたりすることができる樹木等を配置する。

(5) 園路

近隣住民に開かれた公園とするため、バリアフリーな園路空間とする。

5.7.3 施設計画

(1) 芝生広場エリア

■ 整備方針

近隣住民等がくつろぎ、自由に使うことのできるオープンスペースとなることを想定する。外周部にスツール類を配置し、公園内の散歩利用時に適宜休憩可能な空間とする。

■ 導入施設(案)

・芝生広場／・スツール

■ 主な施設整備イメージ

① 芝生広場

- 芝生広場の外周部にスツール類を配置し、芝生広場の内側・外側を見ながらリラックスできる場所とする。

〈整備イメージ〉



図 5-52 芝生広場 整備イメージ

(2) 遊具エリア

■ 整備方針

近隣に住む子どもの遊び場として利用されることを想定する。周辺に一箕小学校や扇町8号公園があることから、施設・設備については機能分担に留意する。

■ 導入施設(案)

・子ども用遊具(鉄棒、ラダー、ステップ遊具 想定)

■ 主な施設整備イメージ

① 子ども用遊具

- 近隣に住む子どもの遊び場利用を想定し、遊具を設置する。その際に、遊具の充実している一箕小学校や、子ども用遊具のニーズが高い扇町8号公園が周辺に位置していることを考慮し、本公園は運動系の遊具を多く配置する。(ラダー、鉄棒 など)

〈整備イメージ〉



図 5-53 ステップ遊具、ラダー 整備イメージ

(3) 住民活動エリア

■ 整備方針

公園南側の出入口がフラットになっているため、公園南側をメインエントランスとして想定する。花壇の配置により、近隣住民等の維持管理活動への参加を通じた地域交流の創出を図る。また、非常時には一時避難場所としても機能するようにするため、車いす等でも利用しやすいよう舗装材とする。

■ 導入施設(案)

・As舗装広場／・花壇／・四阿、パーゴラ、ベンチ

■ 主な施設整備イメージ

① 花壇／四阿・パーゴラ・ベンチ

- 隣接する介護施設等の地域住民の活動の場として、花壇の設置。花壇の維持管理活動を支援する休憩施設として、周辺には四阿やパーゴラといった日陰を創出する施設や、ベンチを配置。

〈整備イメージ〉



図 5-54 パーゴラ 整備イメージ

(4) 緑地エリア

■ 整備方針

隣接する住宅との緩衝帯となりながら、木陰の創出や、季節や自然を感じられたりすることのできる樹木等を配置する。

■ 導入施設(案)

・地被植栽／・低木

■ 主な施設整備イメージ

① 地被植栽・低木

- 隣接する住宅との緩衝帯機能を持たせるとともに、季節を感じられる植栽計画とする。

(5) 園路エリア

■ 整備方針

近隣住民に開かれた公園とするため、バリアフリーな園路空間とする。

■ 導入施設(案)

・園路(Co 舗装想定)

■ 主な施設整備イメージ

① 園路(Co 舗装想定)

- 日常時・非常時ともに誰もが気軽に利用できるようにするため、園路はバリアフリー舗装かつ車いすの相互通行可能な幅員 1.8m 以上として整備を行う。
- なお、本公園については、通行空間(園路)と滞留空間(住民活動エリア)を舗装の切り替えにより明示するため、Co 舗装とする。

5.8 扇町8号公園

5.8.1 計画内容の検討及び設定

(1) 想定される利用者・利用シーン

主なターゲット	想定される利用シーン	必要な機能・性能(案)
近隣住民	<ul style="list-style-type: none">子どもの遊び場利用地域のイベント時や、災害時による利用	<ul style="list-style-type: none">✓ 日常的に利用しやすい遊具等の遊び場空間等✓ イベント時や災害時に利用できる広場空間等
近隣小学生	<ul style="list-style-type: none">小学校や児童館と併せた遊び場利用	<ul style="list-style-type: none">✓ 小学生を中心とした遊び場としての利用ニーズに応える遊び場設備等

(2) コンセプトの設定

小学生の外遊びの中心となる公園

(3) 基本方針

- ① 一箕小学校に隣接する立地や、アンケート結果等から、子どもの遊び場としてのニーズが非常に高いことから、**小学生の遊び場の拠点**となる場を創出する。
- ② 隣接する一箕小学校など、地域と一体となった**維持管理活動**の場を創出する。
- ③ 街区公園として、**近隣住民の日常的な地域活動拠点の場**を創出する。
- ④ ユニバーサルデザインに配慮した整備とする。

5.8.2 ゾーニング計画・動線計画

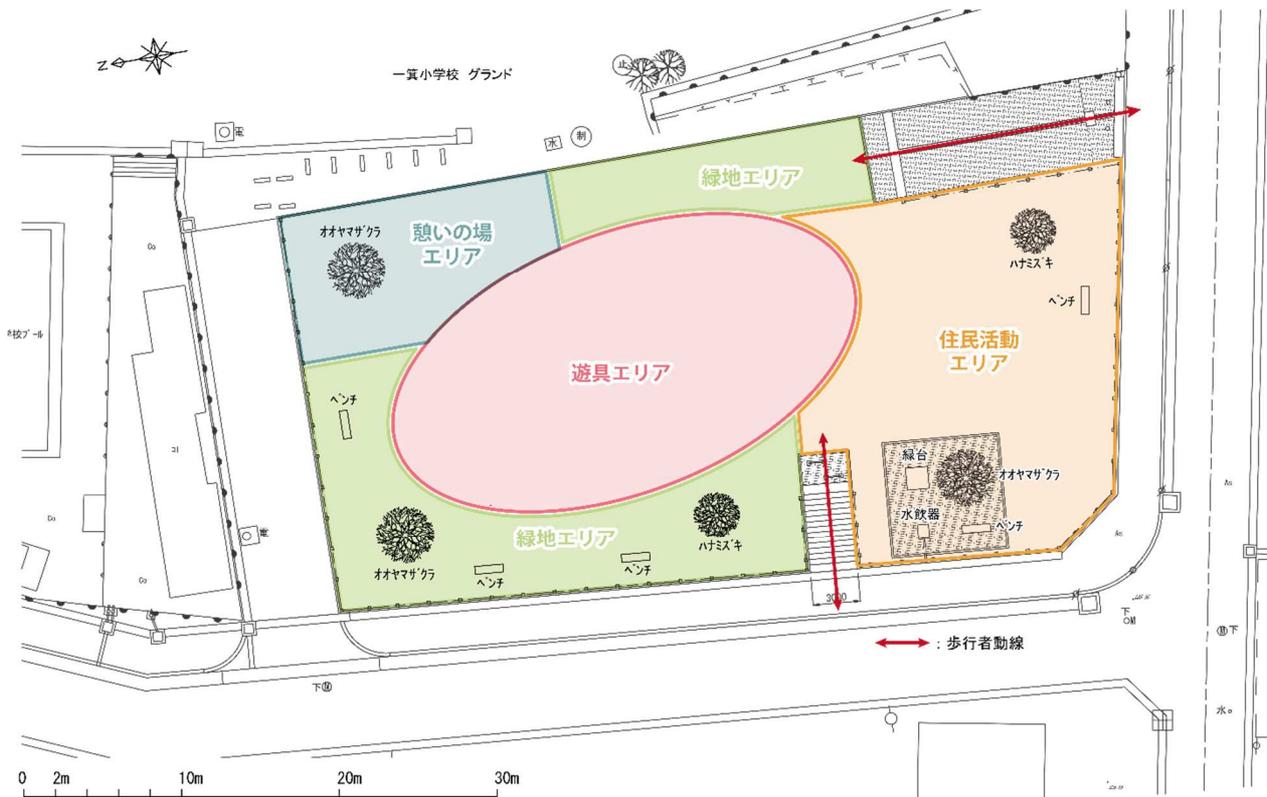


図 5-55 扇町8号公園 ゾーニング計画及び動線計画図

(1) 遊具エリア

公園中心部に大型の複合遊具や、芝生の築山を配置することにより、子どもたちの遊び場として「賑わい」の中心地として利用されることを想定する。

(2) 憩いの場エリア

近隣住民や小学生、保護者がゆったりと会話を楽しんだり、休憩したりすることのできる場の創出を図る。

(3) 住民活動エリア

小学校の課外活動等での利用を想定した花壇の設置や、クレイ舗装(既存)の広場空間の確保により、地域住民等の活動が行われるエリアとして想定する。

(4) 緑地エリア

隣接する住宅との緩衝帯となりながら、木陰の創出や、季節や自然を感じられたりすることのできる樹木等を配置する。

5.8.3 施設計画

(1) 遊具エリア

■ 整備方針

公園中心部に大型の複合遊具や、芝生の築山を配置することにより、子どもたちの遊び場として「賑わい」の中心地として利用されることを想定する。

■ 導入施設(案)

・芝生広場／・大型遊具／・築山／・ステップ遊具

■ 主な施設整備イメージ

① 大型遊具

- 本公園の中心部に大型遊具を配置し、扇町土地区画整理地区内の他の公園との差別化を図る。
- また、様々な遊び方を子どもたちが考えられる施設として、築山(高さ1.0m程度想定)と、ステップ遊具を設置する。

〈整備イメージ〉



図 5-56 大型遊具、ステップ遊具 整備イメージ

(2) 憩いの場エリア

■ 整備方針

近隣住民や小学生、保護者がゆったりと会話を楽しんだり、休憩したりすることのできる場の創出を図る。

■ 導入施設(案)

・パーゴラ・ベンチ

■ 主な施設整備イメージ

① パーゴラ・ベンチ類

- 既存の樹木等を活かしながら、近隣住民や小学生、保護者がゆったりと会話を楽しんだり、休憩したりすることのできる場所として、パーゴラを設ける。

〈整備イメージ〉



図 5-57 パーゴラ・ベンチ 整備イメージ

(3) 住民活動エリア

■ 整備方針

小学校の課外活動等での利用を想定した花壇の設置や、クレイ舗装(既存)の広場空間の確保により、地域住民等の活動が行われるエリアとして想定する。

■ 導入施設(案)

・花壇

■ 主な施設整備イメージ

① 花壇

- 隣接する一箕小学校の課外活動や、児童館による活用などを想定し、花壇など地域と一体となって活用可能なスペースの確保を図る。

(4) 緑地エリア

■ 整備方針

隣接する住宅との緩衝帯となりながら、木陰の創出や、季節や自然を感じられたりすることのできる樹木等を配置する。

■ 導入施設(案)

・地被植栽／・低木

■ 主な施設整備イメージ

① 地被植栽・低木

- 隣接する住宅との緩衝帯機能を持たせるとともに、季節を感じられる植栽計画とする。

5.9 扇町9号公園

5.9.1 計画内容の検討及び設定

(1) 想定される利用者・利用シーン

主なターゲット	想定される利用シーン	必要な機能・性能(案)
近隣住民	<ul style="list-style-type: none">• 子どもの遊び場利用• 地域のイベント時や、災害時による利用• 散歩時の立寄り利用	<ul style="list-style-type: none">✓ 日常的に利用しやすい遊具等の遊び場空間等✓ イベント時や災害時に利用できる広場空間等✓ 休憩利用時にくつろぐことのできる施設・設備等

(2) コンセプトの設定

住宅街の中庭的公園

(3) 基本方針

- ① 近隣の住宅街に近いことから、近隣住宅街の「中庭」のように住民がくつろげる空間を創出する。
- ② 街区公園として、近隣住民の日常的な地域活動拠点の場を創出する。ただし、遊具施設については、周辺に一箕小学校・扇町8号公園や、大町白虎公園といった遊具の充実した施設があることから、機能分担に留意する。
- ③ ユニバーサルデザインに配慮した整備とする。

5.9.2 ゾーニング計画・動線計画

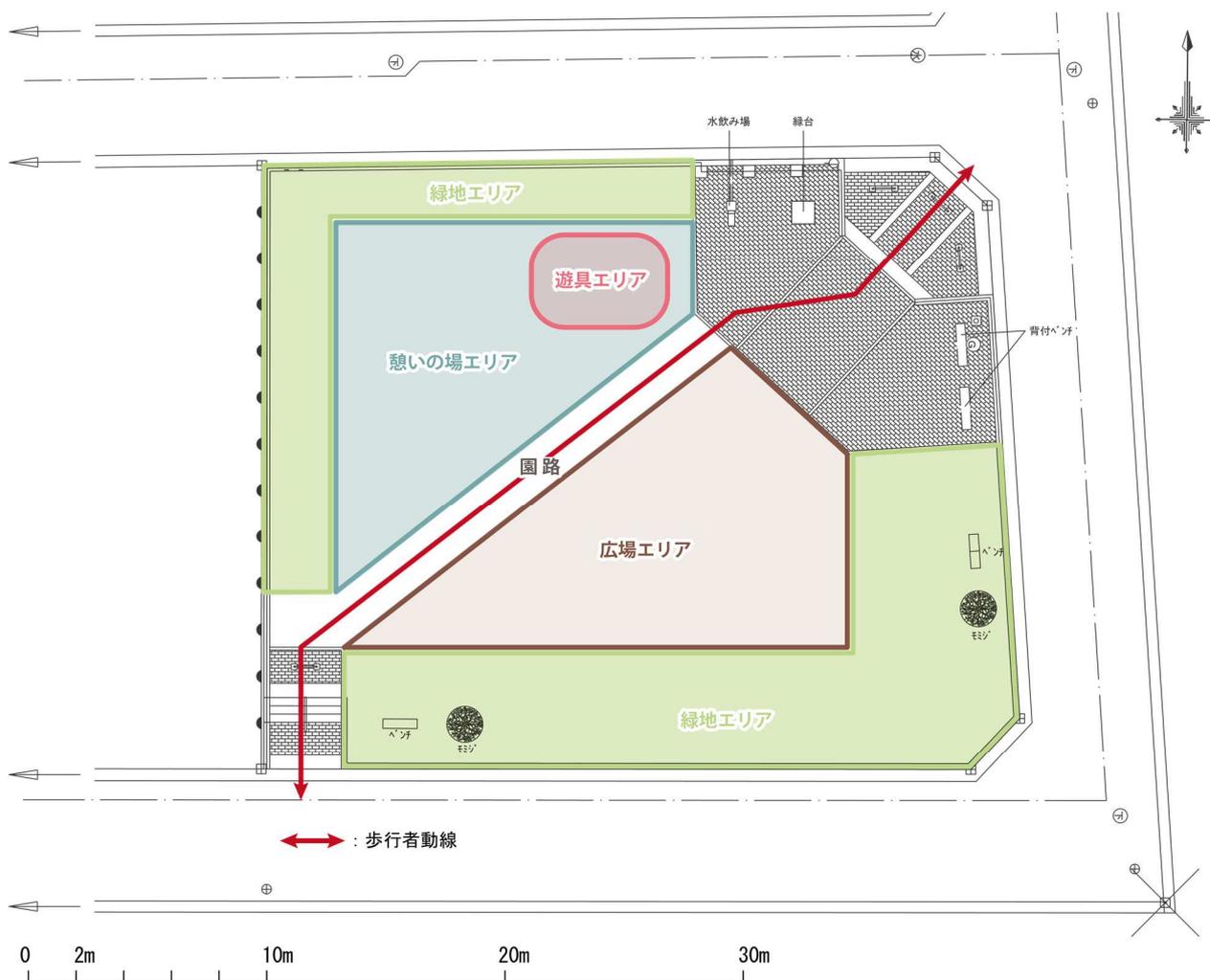


図 5-58 扇町9号公園 ゾーニング計画及び動線計画図

(1) 広場エリア

近隣住民が自由に使えるオープンスペースとして、様々な活動ができるエリアとして想定する。また、非常時には一時避難場所となるようなスペースとしても想定する。

(2) 憩いの場エリア

シンボルツリーや、スツール等を配置し、近隣住民がくつろげるスペースを想定する。

(3) 遊具エリア

近隣に住む子どもの遊び場として利用されることを想定する。

(4) 緑地エリア

隣接する住宅との緩衝帯となりながら、木陰の創出や、季節や自然を感じられたりすることができる樹木等を配置する。

(5) 園路

近隣住民に開かれた公園とするため、バリアフリーな園路空間とする。

5.9.3 施設計画

(1) 広場エリア

■ 整備方針

近隣住民が自由に使えるオープンスペースとして、様々な活動ができるエリアとして想定する。また、非常時には一時避難場所となるようなスペースとしても想定する。

■ 導入施設(案)

・クレイ舗装広場(既設)

■ 主な施設整備イメージ

① クレイ舗装広場

- 既設のクレイ舗装を活かして、近隣住民が地域活動の場として活用されることを想定した広場空間を整備する。

〈整備イメージ〉



図 5-59 クレイ舗装広場 整備イメージ

(2) 憩いの場エリア

■ 整備方針

スツール等を配置し、近隣住民がくつろげるスペースを想定する。

■ 導入施設(案)

・スツール類／・コンクリート舗装

■ 主な施設整備イメージ

① スツール類

- スツール類を配置し、地域住民がゆったりと話したり、くつろいだりすることのできるスペースを創出する。

〈整備イメージ〉



図 5-60 憩いの場エリア 整備イメージ

(3) 遊具エリア

■ 整備方針

近隣に住む子どもの遊び場として利用されることを想定する。

■ 導入施設(案)

・子ども用遊具(ブランコ 想定)

■ 主な施設整備イメージ

① 子ども用遊具

- 近隣に住む子どもの遊び場利用を想定し、遊具を設置する。本公園は「中庭」のように住民がくつろげる空間に適した遊具を配置する。(ブランコ等)

〈整備イメージ〉



図 5-61 子ども遊具 整備イメージ

(4) 緑地エリア

■ 整備方針

隣接する住宅との緩衝帯となりながら、木陰の創出や、季節や自然を感じられたりすることのできる樹木等を配置する。

■ 導入施設(案)

・地被植栽／・低木

■ 主な施設整備イメージ

① 地被植栽・低木

- 隣接する住宅との緩衝帯機能を持たせるとともに、季節を感じられる植栽計画とする。

(5) 園路エリア

■ 整備方針

近隣住民に開かれた公園とするため、バリアフリーな園路空間とする。

■ 導入施設(案)

・園路(Co 舗装想定)

■ 主な施設整備イメージ

① 園路(Co 舗装想定)

- 日常時・非常時ともに誰もが気軽に利用できるようにするため、園路はバリアフリー舗装かつ車いすの相互通行可能な幅員 1.8m 以上として整備を行う。
- なお、駅前に位置する公園であるため、都市景観との調和性の高い Co 舗装とする。

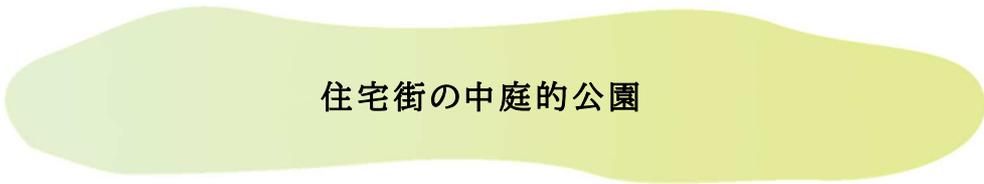
5.10 扇町12号公園

5.10.1 計画内容の検討及び設定

(1) 想定される利用者・利用シーン

主なターゲット	想定される利用シーン	必要な機能・性能(案)
近隣住民	<ul style="list-style-type: none">• 子どもの遊び場利用• 地域のイベント時や、災害時による利用• 散歩時の立寄り利用	<ul style="list-style-type: none">✓ 日常的に利用しやすい遊具等の遊び場空間等✓ イベント時や災害時に利用できる広場空間等✓ 休憩利用時にくつろぐことのできる施設・設備等

(2) コンセプトの設定



住宅街の中庭的公園

(3) 基本方針

- ① 近隣の住宅街に近いことから、近隣住宅街の「中庭」のように住民がくつろげる空間を創出する。
- ② 街区公園として、近隣住民の日常的な地域活動拠点の場を創出する。
- ③ ユニバーサルデザインに配慮した整備とする。

5.10.2 ゾーニング計画・動線計画

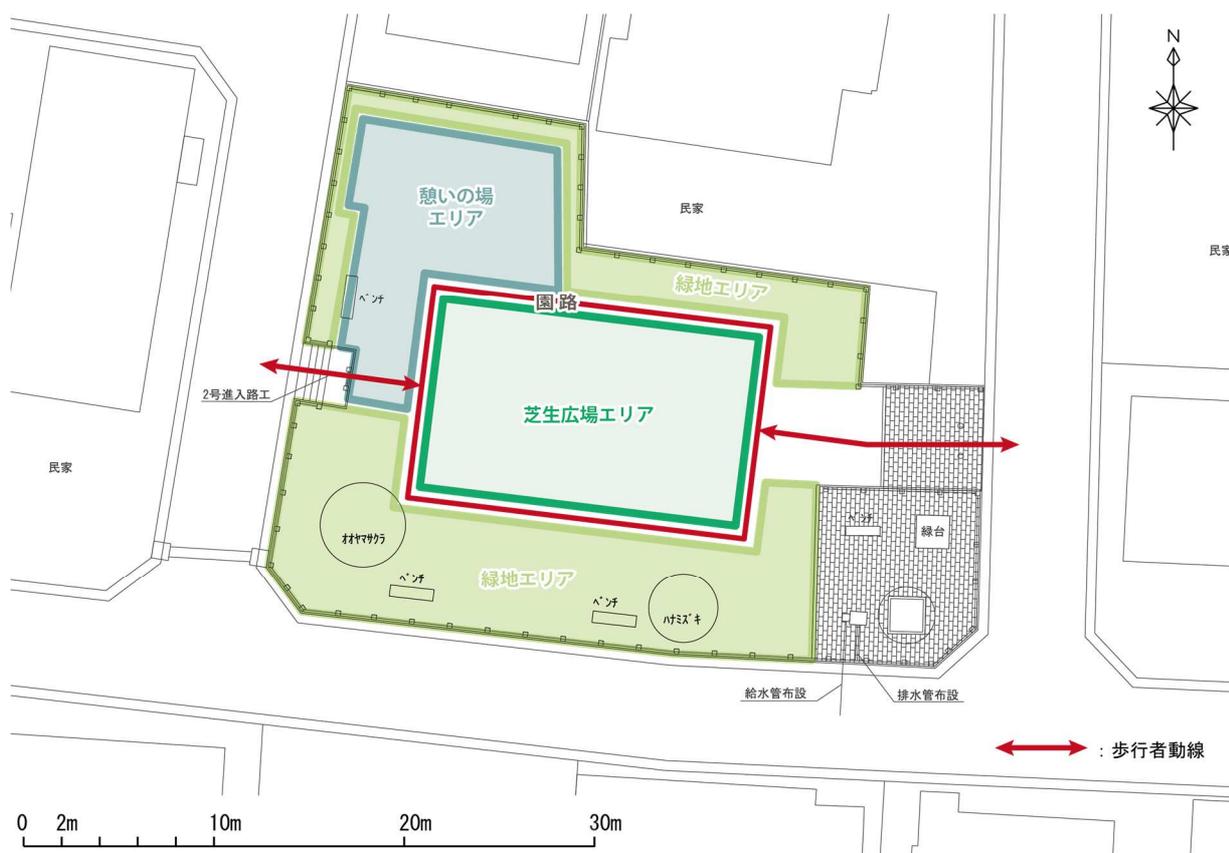


図 5-62 扇町 12 号公園 ゾーニング計画及び動線計画図

(1) 芝生広場エリア

中央にシンボルツリーを配置し、公園のシンボルとなるような芝生広場とする。外周部にベンチ等を配置し、散歩等による利用者の休憩利用を想定する。

(2) 憩いの場エリア

隣接する住宅との緩衝帯となりながら、木陰の創出や、季節や自然を感じられたりすることができる樹木等を配置する。また、パーゴラ、ベンチを配置し、憩いの場としての利用を想定する。

(3) 緑地エリア

隣接する住宅との緩衝帯となりながら、木陰の創出や、季節や自然を感じられたりすることができる樹木等を配置する。また、既存のオオヤマザクラや、ハナミズキの植栽等を活かしながら、簡単な遊び場としての利用を想定する。

(4) 園路

近隣住民に開かれた公園とするため、バリアフリーな園路空間とする。

5.10.3 施設計画

(1) 芝生広場エリア

■ 整備方針

中央にシンボルツリーを配置し、公園のシンボルとなるような芝生広場を想定する。外周部にベンチ等を配置し、散歩等による利用者の休憩利用を想定する。

■ 導入施設(案)

・芝生広場／・ベンチ

■ 主な施設整備イメージ

① 芝生広場

- シンボルツリーを中心に配置し、周辺住宅街の中庭のような印象を与える空間の確保を行う。

〈整備イメージ〉



図 5-63 芝生広場 整備イメージ

(2) 憩いの場エリア

■ 整備方針

隣接する住宅との緩衝帯となりながら、木陰の創出や、季節や自然を感じられたりするこのできる樹木等を配置する。また、四阿、ベンチを配置し、憩いの場としての利用を想定する。

■ 導入施設(案)

・パーゴラ／・低木

■ 主な施設整備イメージ

① 四阿

- 近隣住民の散歩等の休憩場所や、地域のイベントの際の小さな拠点として利用される空間の整備を行う。

〈整備イメージ〉



図 5-64 憩いの場 整備イメージ

(3) 緑地エリア

■ 整備方針

隣接する住宅との緩衝帯となりながら、木陰の創出や、季節や自然を感じられたりするこのできる樹木等を配置する。また、既存のオオヤマザクラや、ハナミズキの植栽等を活かしながら、簡単な遊び場としての利用を想定する。

■ 導入施設(案)

・ 芝生広場 / ・ 遊具 / ・ 高木 / ・ 生垣 /

■ 主な施設整備イメージ

① 地被植栽・低木

- 隣接する住宅との緩衝帯機能を持たせるとともに、季節を感じられる植栽計画とする。また、近隣住民が遊ぶことのできる複合遊具を設置する。

〈整備イメージ〉



図 5-65 複合遊具 整備イメージ

(4) 園路エリア

■ 整備方針

近隣住民に開かれた公園とするため、バリアフリーな園路空間とする。

■ 導入施設(案)

・園路(クレイ舗装想定 ※既設)

■ 主な施設整備イメージ

① 園路(クレイ舗装想定)

- 日常時・非常時ともに誰もが気軽に利用できるようにするため、園路はバリアフリー舗装かつ車いすの相互通行可能な幅員 1.8m 以上として整備を行う。
- なお、本公園は「中庭」的な空間をコンセプトとしており、自然景観との親和性が特に高い舗装であるクレイ舗装とする。